

OCL Information

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

対象項目/変更内容

項目コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
2573	デオキシピリジノリン (Dpyr) [骨粗鬆症]	測定方法 報告様式 報告下限 所要日数 保存安定性	CLEIA DPD濃度 (nmol/L) クレアチニン換算値 (nmol/mmol・Cr) クレアチニン値 (mg/dL) DPD濃度：7.0未満 2～4日 7日	EIA クレアチニン換算値 (nmol/mmol・Cr) — 3～5日 6週	
2378	デオキシピリジノリン (Dpyr)	測定方法 報告様式 報告下限 所要日数 保存安定性	CLEIA DPD濃度 (nmol/L) クレアチニン換算値 (nmol/mmol・Cr) クレアチニン値 (mg/dL) DPD濃度：7.0未満 2～4日 7日	EIA クレアチニン換算値 (nmol/mmol・Cr) — 3～5日 6週	
1765	肺サーファクタント プロテインD(SP-D)	測定方法	LA(ラテックス凝集比濁法)	CLEIA	

変更期日

- 令和6年4月1日(月)受付日分より

デオキシピリジノリン [骨粗鬆症]・デオキシピリジノリン

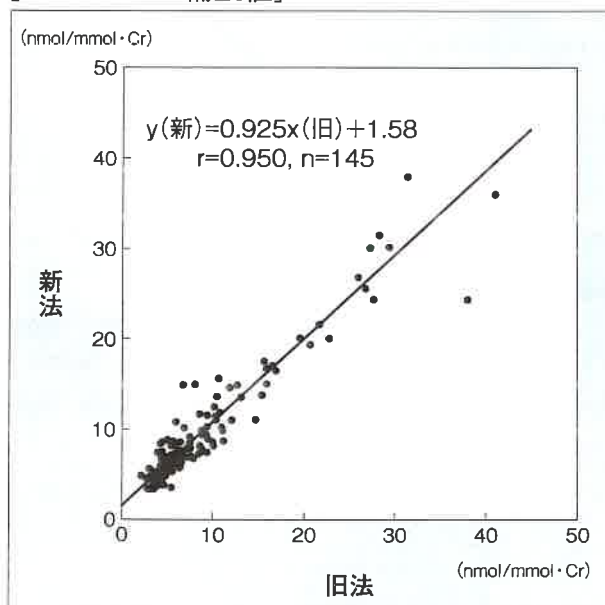
測定試薬をEIA試薬からCLEIA試薬に変更します。結果値はデオキシピリジノリン濃度のクレアチニン補正值の他に、新たにデオキシピリジノリン濃度とクレアチニン値も併せてご報告いたします。

新旧二法の相関は良好であり、基準値の変更はなく、所要日数を短縮いたします。なお、デオキシピリジノリン濃度が検出下限 (7nmol/L未満) の場合は、7nmol/Lを用いてクレアチニン補正を行い、クレアチニン補正值は「未満」を付記してのご報告となります。

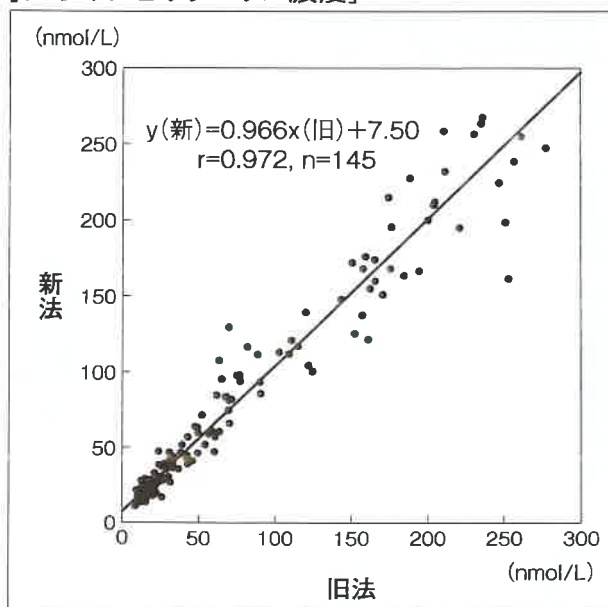
また、項目名の略称を日本骨粗鬆症学会「骨粗鬆症診療における骨代謝マーカーの適正使用ガイド」に準拠し、変更いたします。

新旧二法の相関

[クレアチニン補正值]



[デオキシピリジノリン濃度]

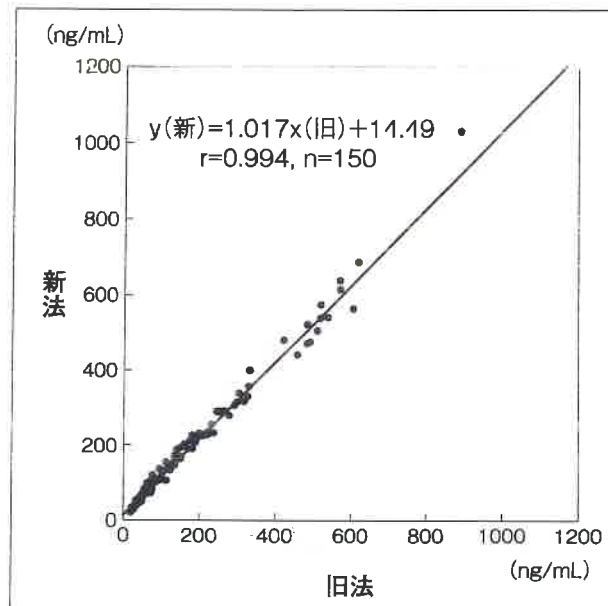


(社内検討データ)

肺サーファクタントプロテインD (SP-D)

測定試薬をCLEIA試薬からLA (ラテックス凝集比濁法) 試薬に変更いたします。新旧二法の相関は良好で、基準値等の変更はございません。

新旧二法の相関



(社内検討データ)